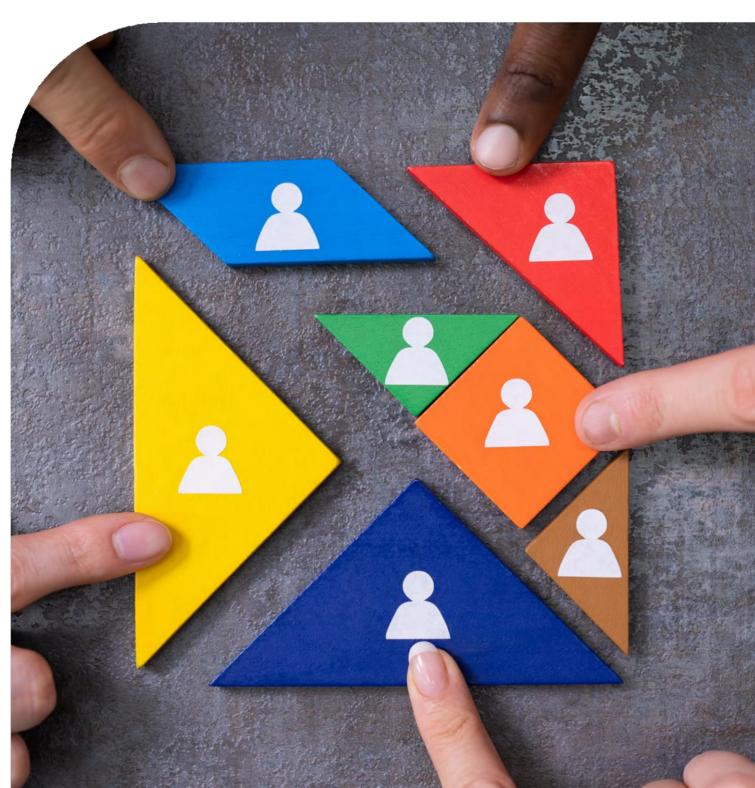




ソーシャルボンドに関するインパクトレポーティングについて調和のと れた枠組みを目指すガイダンス文書

2022年6月



目次

ソーシャルボンドに関するインパクトレポーティングについて調和のとれた枠組みを目指すガイダンス文書

レポーティングのコア原則

推奨項目

付属書1-対象となる人々に対するインパクトの確認

付属書||-ソーシャル・ポートフォリオ/プロジェクトに関するレポーティング向けの略式テンプレートのサンプル

付属書Ⅲ-ソーシャル関連の指標サンプルのワークリスト

免責条項

本文書は、有価証券の購入また売却を提案するものではなく、またいかなる形式の特定の助言(税、法律、環境、会計または規制)を行うものでもなく、個人、公共機関また民間機関に権利や義務を生じさせることはない。発行体は自主的かつ独立して、マッピングを採用、実施する。適用される法律、規則および規制、ならびにかかる法律、規則および規制と本ガイドラインとの間に矛盾がある場合に依拠するものがなければ、関連する現地の法律、規則および規制が優先する。

ソーシャルボンドに関するインパクトレポーティングについて調和のとれた枠組みを目指すガイダンス文書

国際的な開発課題の克服や公共の利益のための目標推進には、ポジティブな社会的インパクトを引き起こすプロジェクトへの大規模な投資が必要である。これらの投資の多くは、債券などの負債性金融商品で資金を調達すると思われる。ポジティブな社会的アウトカムが見込まれるプロジェクトの資金調達を債券市場の一部に委ねることは、 **持続可能な開発目標(SDGs)**に例示されるものなど国際的な課題に対処するための既存または新たな流動性プールが設けられることになるだろう1。

ソーシャルボンドは **ソーシャルボンド原則** (SBP) ²の4つのコア原則に適合する債券である。SBPでは、調達資金は適格なソーシャルプロジェクトの資金の調達またはリファイナンスにのみ充当される。 適格なソーシャルプロジェクトとは、特定の社会的な問題の処理または軽減を目的としたプロジェクト、及び/又は対象となる人々のためだけではなく、ボジティブな社会的アウトカムの達成を目指すプロジェクトである³。 対象となる人々の定義は地域の状況次第で異なることがあり、場合によっては、一般社会への取組みの結果、対象となる人々が助けられることもあることが認識されている。 さらに、SBPでは、とりわけ、手ごろな価格の基本インフラの提供、必要不可欠なサービスへのアクセス、それに手ごろな価格の住居など、複数の適格なプロジェクトの事業区分を明確に認めている。

ソーシャルボンドはソーシャルプロジェクトへの投資拡大を目指している。ソーシャルボンドの発行は近年、大幅に増加し、積極的な発行体、 投資家、アレンジャーも増え続けている。ソーシャルボンド市場は、発行額、発行体、通貨及び地理的多様性が拡大し続けると思われる。し たがって、ソーシャルボンド市場を揺るぎないものとし、市場の健全性を維持するには、透明性とレポーティングの向上が重要である。

調和のとれたレポーティング実務の実現には、調達資金を管理し、プロジェクトの適格性を判断するため、異なる内部プロセスに適合する指標を判別する必要がある。本文書は、ソーシャルボンド原則ワーキング・グループでの結論を要約し、発行体や投資家の間での幅広い議論を引き起こすことを意図している。そして、発行体が自らのレポーティングを発展させるなかで、コア原則や発行体に対する推奨項目など、ソーシャルボンドの調達資金が充当されたプロジェクトのレポーティングに関する枠組みを概説している。また、発行体が自らの状況に合わせて適用可能な定量および定性情報を含めたレポーティングのテンプレートも定めている(別紙IIを参照)。

ソーシャルボンドワーキング・グループ(SBWG)は、様々な指標が使用されていることや、それらの指標によりアウトプット、アウトカム又は長期的なインパクトの測定ができることを認識している。ソーシャルボンドの目的はポジティブなインパクトのあるプロジェクトの資金を調達することであり、ポジティブなインパクトは、(ポジティブな)結果だけでなく、潜在的なネガティブインパクトまたは未達成の目標を把握するために利用されるアウトプット、アウトカムおよびインパクトから測定することができる。各事業区分に基づく指標リストの一部は、付属書IIIに記載している。SBWGは、発行体のフレームワークで定められるアウトプット、アウトカム及び/又はインパクトが、何よりもまず、ソーシャルボンドを支えるプロジェクトに関して表明した目的と合致させ、透明性の水準を高めるべきであり、また指標を含めること自体が目的となることは避けるべきであると強調する。指標には以下の種類などがある4。

- **アウトプット**: ある組織の活動に伴う有形又は無形の業務、製品およびサービスとして定義される。アウトプットは容易に測定でき、 (外部から)検証可能であるべきである。例としては、建築された手ごろな価格の住居やサービスを受けたホームレスの数がある。
- **アウトカム**: アウトプットの結果として発生する可能性のある組織の活動に伴う(長期的または短期的な)変化、便益、習得事項あるいはその他の影響として定義される。例としては、全国または地域の家賃指数と比較した対象となる人々の家賃に係るコスト削減額がある。

¹SDGsは193か国で採択され、各国が持続可能な開発の追及に向けた特定の課題に対処するという合意に基づいている。2030年までにSDGsを達成するうえでのこれらの課題への対応は、大きな投資機会につながる。

²ソーシャルプロジェクトの定義やソーシャルプロジェクトの事業区分の一覧の全体像については、<u>ソーシャルポンド原則</u>を参照されたい。グリーンプロジェクトとソーシャルプロジェクトを意 図的に組み合わせた債券はサステナビリティボンドといい、そのガイダンスはサステナビリティボンド・ガイドラインで別途定めている。

³発行体は、2020年にガイダンスハンドブックに追加されたソーシャルボンドに関連するQ&Aを参照されたい。

⁴EU全体のベストプラクティスであるインパクト測定に係るスタンダードとしてECが支持するEVPA(https://evpa.eu.com/uploads/publications/IM-Guide-English.pdf 閲覧可能)の定義を参考に、投資家や発行体を含む各種ICMAソーシャル/グリーンボンド・インパクトレポーティング・サブワーキング・グループのメンバーからのインプットに基づいて修正した指標

・ インパクト: ある組織の活動に紐づく、より広範囲で、より長期的なアウトカムと定義される。インパクトは、多くの場合はプロジェクトの活動が完了してから、一定の年数を経過してから表出し、また一部において、債券の満期到来後にしか分からないことがある。例としては、資金調達を行ったプロジェクトの取組みによる対象地域のホームレス率の低下がある。

注記:社会的インパクトを正確に算定するには、以下についてアウトカムを調整する必要がある。(i) いずれにせよ、発生したであろう事項 (「デッドウエイト」)、(ii) 他者の行為 (「帰属」)、(iii) 当初の介入のアウトカムが時間の経過で低下する可能性の程度 (「ドロップ オフ」)、(iv) その他、当初の状況から変わる程度、あるいはアウトカムが他の潜在的なポジティブなアウトカムにとって代わる程度 (「置換」)、および意図しない結果 (ポジティブとネガティブの可能性がある) 5

付属書Ⅲに列挙されている推奨アウトプットおよびアウトカムに関する指標はすべて、「ソーシャル関連の指標」に該当する。

⁵インパクト測定に関するEVPAガイドライン(https://evpa.eu.com/uploads/publications/IM-Guide-English.pdf の17ページで閲覧可能)と社会的投資利益手法(https://static1.squarespace.com/static/60dc51e3c58aef413ae5c975/t/60f7fa870f31d77fba3d5fc9/1626864270430/The-SROI-Guide-US-edition.pdfの54ページから63ページで閲覧可能)と適合

レポーティングのコア原則

- 1. **発行体は、調達資金を追跡する正式な内部プロセスを設けるべきである。**定義上のソーシャルボンドの特徴は、調達資金が発行体によって示された適格基準を満たすプロジェクトを支援するためだけに充当されることである。発行体は、適格性の判断と調達資金の追跡において使用するアプローチの主な特徴を説明することが推奨される。
- 2. **発行体は、ソーシャルボンドで調達した資金の使途及び予想される社会的インパクトを最低年1回開示するべきである。**発行体は、 調達資金の使途に関する最新情報を、すべての資金が充当されるまで年1回、大きな進展があった場合には随時、作成、保持、および容易に入手可能な状態にするべきである。
- 3. **発行体は、ソーシャルボンド原則に定める適格なプロジェクトの事業区分などの、ソーシャルボンドの調達資金が充当されるソーシャルプロジェクトの事業区分を特定すべきである。**発行体は、事業のセクターといったプロジェクトの事業区分に関するより詳細な内容を提供することが推奨される。発行体はまた、持続可能な開発目標(SDGs)といった市場全体の社会的または開発に係る目標との適合性を判別し、投資判断の一部としてこれらの目標を使用する投資家を支援することが推奨される。。
- 4. **発行体は、ポジティブな社会経済的アウトカムが見込まれる対象となる人々を特定すべきである。**発行体は、特定の人々が目標とされた理由に関する追加情報を提供することが推奨されている。例えば、選別された人々が十分なサービスを受けられていない、あるいは弱者とみなされている理由を説明したり、使用した所得基準を提示したりすることである。
- 5. 発行体は、プロジェクトレベル又はポートフォリオレベルのいずれにおいても、ソーシャルボンドで資金を調達したプロジェクトのアウト プット、アウトカム、及び/又はインパクトを、ソーシャルボンドが償還するまでの期間を通して公開すべきである。ポートフォリオレベル での開示は、機密保持を考慮して詳細な開示を制限している場合に必要となり、あるいはソーシャルボンドにより多数の小規模プロジェクトに係る資金を調達している場合に有用となる可能性がある。
- 6. インパクトレポートでは、ソーシャルボンドの調達資金が充当されたプロジェクトの結果として生じることが予想される社会的インパクトを提示するべきである。レポーティングは、あるプロジェクトが完了し、正常な能力により稼働している場合に、対象年において事前に予想される年間インパクトの推定及び/又は(事後的に)入手可能な実際に生じた年間インパクトに基づいて行われるだろう。レポーティングがポートフォリオレベルで行われる場合、事前の推定は各ポートフォリオの年次分析、あるいは複数の事業区分に係る資金を調達する場合には各事業区分の年次分析、に基づいて行われる。インパクトの推定方法は透明であるべきである。インパクトレポートにはまだ構築又は実行段階であるプロジェクトの結果の推定を含む場合があることから、これらの結果が最終的に実現する保証はない。したがって、レポーティングは特定の年また報告期間に達成された実際の結果を提供することを意図していない。

-

⁶発行体は、「グリーンソーシャルアンドサステナビリティボンド:持続可能な開発目標のマッピング」を参考されたい。

推奨項目

- A. **適格性:発行体は部分的な適格性を有するプロジェクトについて透明性を保つこと、また発行体が部分的な適格性を認めるかどうか、また認める範囲を開示することが強く推奨される**7。発行体がソーシャルボンドの調達資金を部分的適格性を有するプロジェクトに充当することを求める基準を利用する場合、各支出に関連する項目についての想定をすべて説明することが推奨される(例えば、支出がまず、「ソーシャル」の構成要素に行われる、又は「ソーシャル」と「その他」の構成要素の間で按分して行われると想定される場合)。加えて、発行体はまた、プロジェクト全体のうちソーシャルボンドの適格性を有するものの比率を開示する場合もある。
- B. レポーティング指標:発行体は、自らのプロジェクトに関連するアウトプット、アウトカム及び/又はインパクトの指標を利用し、可能であれば常に既存の指標リストおよびカタログを活用することが推奨される。定量指標が強く推奨される。SBWGは発行体に対して、計測可能かつ実務的な指標を特定し、同時にプロジェクトの結果として見込まれる有形の社会的な変化を把握することを推奨している。例えば、指標としては、便益を受ける人数または設備の数といった観点があり得る。プロジェクトが気候関連のインパクトもある場合、発行体は、関連する既存のグリーン分野の指標に基づいて報告することが推奨される。SBWGは、定量指標が、プロジェクトから見込まれる社会的インパクトを十分に表していない、あるいは計測不可能な場合があることを認識している。このような場合において、発行体には、定性情報で補う、または代用することを推奨している。
- C. 指標の方法論:比較可能性および透明性のために、発行体がソーシャル関連の指標の算定に使用した方法および前提条件の背景を提供することが強く推奨される。とりわけ、発行体には、ソーシャル関連の指標が基準点から目標点の増加分(相対値)を示しているのか、あるいは基準となる起点を考慮せず将来の合計値(絶対値)を示しているのかを説明することが推奨される。基準となる値を使用する場合、発行体はその合理性を開示すべきであろう。ソーシャルボンドの発行、又はソーシャルボンドを通じて資金を調達するプロジェクトや法人に関連する文書で公開されていない複雑な再計算は避けるべきである。プロジェクト、セクター、又はポートフォリオ全体を比較する際には、想定や方法が大きく異なることがあることから、注意すべきである。プロジェクトの各構成要素に関して予想されるインパクトを個別に開示できない場合、発行体は各構成要素のインパクトを、帰属に係る手法を開示しながら、関連する資金調達の相対的な割合に基づいて帰属させることが考えられる。発行体は、複数のセクターの開示する指標を1つの表にまとめて組み入れることができる。総数を開示する場合、その開示表で総数を明確にするべきである。発行体は、一貫性のある指標集合に関して定期的にインパクトに関するデータの収集、報告をし、可能な場合、比較データおよび前年比トレンド分析を提供することが推奨される。
- D. **資金調達の割合およびレポーティング**:発行体は、インパクトの計算に適用された適格プロジェクトの資金調達の割合を決定するために使用した方法を説明することが推奨される。この割合は、発行体が資金を調達したプロジェクト総コストの割合である。発行体はまた、プロジェクト総コストを報告することがある。調達資金の充当方法によって、インパクトレポーティングに対するアプローチが異なることがある。

複数のインパクトの指標を合計する際、按分された割合のみを合計に含めるべきである。

個別のプロジェクトに充当される場合、開示にあたっては、特定のプロジェクトを識別し、プロジェクトごとにプロジェクトの結果全体(あらゆる資金源からの資金調達を含む)をプロジェクト全体の規模及び/または資金調達全体の発行体による割当分(プロジェクトごとの開示)に関する情報をもって明確化し、及び/又はプロジェクトの結果全体に占める按分割合のみ(資金調達全体の発行体の配分割合)を含む各プロジェクトの結果(プロジェクトごとの充当に基づいたポートフォリオに関する開示)を集計することが推奨される。プロジェクトのポートフォリオに充当する場合、発行体は通常、ポートフォリオの結果全体について開示する(ポートフォリオの充当に基づくポートフォリオに関する開示)。しかし発行体は、結果全体の按分割合も開示することが推奨される。

E. プロジェクトのインパクトの存続期間:インパクトの存続期間の推定及び/又はプロジェクトの各年の経済的な存続期間を開示する場合、発行体は、専門家との協力が推奨される。そのような開示は有益であるが、ソーシャルプロジェクトにおいては、インパクトの存続期間が簡単に計算できることはまれである。発行体は、推定した年次のインパクトをプロジェクトの経済的な存続期間に単純に掛け

⁷SBWGでは、プロジェクト全体のうち一部のみソーシャルボンドによる資金調達として適格な場合があることを認識している。例えば、プロジェクトの一部が対象となる人々の便益に 資することを意図し、それ以外のプロジェクトは不適格な人々を対象とするプロジェクトである。

て計算することを避けるべきである。これは、プロジェクトの存続期間の上昇フェーズおよび下降フェーズ、あるいはソーシャルプロジェクトから生じる可能性のある複合的な便益を考慮していないからである。例えば、衛生施設は、現地の健康に関するアウトカムを生み出し、その後、経済成長を創出することがある。

- F. 前提条件および事後的な検証:発行体が特定のプロジェクトの事後的な検証を試験実施する場合、事前評価の精度を説明するために、レポーティングの際に関連のあるインパクトを使用することが推奨される。ソーシャル関連の指標を推定する際に重要な検討事項として、ソーシャル関連の指標は多数の仮定に基づくことが多いということである。技術的な専門家はその時点で入手可能な情報に基づいた合理的で、健全で保守的な仮定を目指すが、プロジェクトから実際に生じる社会的インパクトは当初の予想と異なることがある。例えば、社会、経済、技術、政治、それに法律の変化により予想から逸れる可能性がある。どのような場合でも、仮定に透明性があれば、事前評価と事後評価の相違の理由が明確になるであろう。事後的な検証の詳細な情報に関しては、付属書の「対象となる人々に対するインパクトの確認」を参照いただきたい。
- G. **開示期間:可能かつ該当する場合、発行体は、プロジェクトの開示を行う期間およびプロセスを設定し開示することが推奨される。** プロジェクトをレポートに追加する、またプロジェクトをレポートから除外するタイミングについては、複数の選択肢がある。ポートフォリオレベルでのレポーティングの場合、プロジェクトは直接または間接的なポートフォリオへの追加、またはポートフォリオからの除外に合わせて、インパクトレポートへの追加、またはインパクトレポートからの除外が行われるだろう。ソーシャルボンドのプログラムに含まれるプロジェクトのモニタリングをする際のデューデリジェンスの一環として、発行体はソーシャルボンドのプログラムからプロジェクトを除外することを選択することもある。その場合、当該プロジェクトがその後再び適格と判断されない限り、またはそのような判断がされるまでは、当該プロジェクトに関するレポーティングは中止することができる。
- H. **支出レポーティング:発行体のインパクトレポーティングでは、支出のタイミングを示すことが推奨される**。すなわち、支出した年(またはこのことを示すその他の指標)、又は、該当する場合、資金調達の視点でのプロジェクトの段階(署名、支出、返済など)である。

付属書1-対象となる人々に対するインパクトの確認

対象となる人々に対するインパクトの確認は、対象となる人々(特定の場合、全体と一致する可能性がある)からインパクトに関するデータを収集するプロセスをいう。対象となる人々の構成要素は、その債券の調達資金がインパクトを与える対象である。対象となる人々に対するインパクトの確認は、レポーティングの透明性を高め、インパクト・ウォッシングのリスクを軽減するであろうインクルーシブなボトムアップ・アプローチを使用して、資金使途の効果を評価することを目的としている。また、一部の種類のプロジェクトや環境に関して、対象となる人々に対するインパクトの確認が、他よりも時間的な実現可能性や妥当性が高い可能性があるということも認識されている。

したがって、対象となる人々に対するインパクトの確認は推奨されているが、これは全く任意のものである⁸。対象となる人々に対するインパクトの確認は、データ収集やデジタル調査の実施等のサポートを提供する第三者の協力を得られる発行体が実施することができる。

プロジェクトの範囲と実現可能性に応じて、対象となる人々に対するインパクトの確認は以下の通り実施され得る。

- 発行前: ソーシャルボンド発行前のインパクトの確認は、「資金使途」が対象となる人々に与える便益を示すために、あるいは発行後のレポーティングに使用するうえで最も適切なインパクトの指標を選択するために、使用した想定の堅牢性又は精度を確認するために実施される、及び/又は
- 発行後: ソーシャルボンドの発行後のインパクトの確認は、インパクトに関する開示が対象となる人々において実際に生じたアウトカムに基づいているかどうかを確認するために行われる。

例えば、対象となる人々に対するインパクトの確認は、全体に代えて、無作為に抽出された対象となる人々のサンプルをもとに実施される。 各主体は任意匿名で、合意された頻度でインプットの提供を要請することができる。発行体は、ソーシャルボンド・フレームワークやその後のインパクトに関する開示の「レポーティング」の項目で示した発行体自らのアプローチ(規模、方法、データ収集頻度、ツールなど)に沿って自主的に記載することができる。

8

⁸インパクトの確認プロセスを通じて、あらゆる種類のアウトプット、アウトカムおよびインパクトは、資金使途の対象となる人々への最終的な影響を評価することを目的に収集されること に留意されたい。

付属書II-ソーシャル・ポートフォリオ/プロジェクトに関するレポーティング向けの略式テンプレートのサンプル

ソーシャル・ポートフォリオ/プロジェクトに関するレポーティング向けの略式テンプレートのサンプル

名称	プロジェクト・事業区分			対象となる人々 充当情報				ソーシャル関連の指標				
プロジェクト名	SBP事業区分	サブの事業区分	SDGs 対応 (関連する目標 およびターゲッ ト)	対象グループ	契約額 (通貨)	資金調達 合計のうち の割合 (%)	ソーシャルボ ンドの適格 性 (契約額の うちの割合)	充当額 (通貨)	ポートフォリ オのライフタ イムまたは予 算計上年数 (年)	指標1 (#、測定単位、絶対 値又は相対値)	指標2 (#、測定単位、絶対 値又は相対値)	指標n (#、測定単位、絶対 値又は相対値)
	a/	b/	c/	d/	e/	f/	g/	h/	i/	j/	j/	j/
例:サンプル 水プロジェクト	手ごろな価格の 基本インフラ	水	6.1	水道のない十分 なサービスを受け ていない世帯	500万米ドル	100%	100%	500万米ドル	5年	1,000世帯に供給 (絶対値)	プラント1棟の建設 (絶対値)	
		衛生/下水										
		公共輸送										
		ヘルスケア										
	必要不可欠な サービスへのアク	教育及び職業 訓練										
	セス	金融サービス										
	手ごろな価格の 住宅											
	食料安全保障											
	社会経済的発 展およびエンパ ワーメント											
		SME(中小企業)ファイナンス										
		マイクロファイナンス										
		その他										

注記:

- a/ 適格事業区分
- b/ 適格なサブの事業区分(該当する場合)。本書に記載するサブの事業区分は例であり、網羅的なものではない。
- c/ 資金調達済みのポートフォリオ/プロジェクトが対応し、選択したSBPの(サブ)事業区分に合致する関連SDGs(該当する場合)
- d/ 適格な対象となる人々は以下などである。
 - 1) 貧困ライン以下で暮らしている人々
 - 2) 排除された及び/又は社会から取り残されている人々並びに/あるいはコミュニティ
 - 3) 障がい者
 - 4) 移民及び/又は難民
 - 5) 教育を受けていない人々
 - 6) 必要不可欠な質を伴う商品およびサービスにアクセスできないといった十分なサービスを得ていない人々
 - 7) 失業者
 - 8) 女性及び/又は性的ジェンダー・マイノリティ
 - 9) 高齢者および脆弱な若者
 - 10) 自然災害に罹災者を含むその他の弱者グループ
- e/ ソーシャルボンドの資金調達に関して適格なポートフォリオ又はポートフォリオの構成要素に対して発行体がコミットした契約額/予算計 上金額
- f/ 発行体が資金調達するポートフォリオ/プロジェクトの総コストの割合である。
- h/ ソーシャルボンドとして適格であるポートフォリオ/プロジェクトの総コストの割合である。
- i/ 想定されるポートフォリオ/プロジェクトの経済的もしくは財務的な存続期間のいずれかに基づく。
- j/ 指標には、人、プロジェクトまたは施設が含まれる。例えば、人数、病院数、学校数、介護施設数などである。所定の指標が相対値か 絶対値かを特定されたい。指標の水準、すなわちアウトプット、アウトカム、インパクトのいずれであるのかを記載することが推奨される。

付属書III-ソーシャル関連の指標サンプルのワークリスト

本付属書は、考慮され得る定量的なソーシャル関連の指標の一覧を示す。本リストは包括的なものではなく、各欄は同じ行に記載の指標が必ずしも関連するものではないとして、個別に考慮されるだろう。

SBWGは、様々な指標が利用されていることを認識している。本付属書は、特定の指標を推奨することを意図しておらず、また包括的であることを意図していない。複数のSBWGのメンバーは、ソーシャル関連の指標のサンプル一覧の発展に貢献してきた。発行体は、プロジェクトの状況に基づき、アウトプット、アウトカムおよびインパクトを区別することができると思われる(提案したソーシャル関連の指標は、資金調達されているプロジェクト又は組織の性質によりいずれの事業区分でも有効に働くだろう)。

事後レポーティング指標の選択

インパクトが発現する、あるいはインパクトの測定が可能になるのが、長期的、又は償還期間よりも後になると見込まれる場合、発行体はより 短期的に連動する指標を開示し、広義のソーシャルボンド・フレームワークで、どのようにして、債券の償還期限到来後に長期的なインパクト が起こると見込んでいるかについての記載を追加することを選択できる。その他様々な情報源から指標を利用することができる。例えば、GIIN IRIS+(こちらで閲覧可能: https://iris.thegiin.org/)、国連の持続可能な開発目標における169のサブターゲット(こちらで閲覧可能: https://sdg.humanrights.dk/en/goals-and-targets)などがある。

対象となる人々

以下の表に示す指標の大半は一般的な例で、特定の対象となる人々についての検討は行っていない。そのため、発行体は、特定の対象となる人々において想定されるインパクトを提示するために、データを分解し、個別的に指標を定義することが推奨される(対象となる人々の非包括的リストに関しては、本文書の8ページを参照のこと)。例えば、発行体が「女性」を対象となる人々とし、ソーシャルボンドの資金使途が金融サービスの拡大を目指す場合、アウトプットの指標は、「手ごろなクレジットにアクセスできる女性の数」になる可能性があり、アウトカムの指標は「女性の所得増加率(%)」になる可能性がある。

COVID関連の指標(*)

COVID-19のパンデミックを踏まえて、SBWGはアスタリスク(*)の印の付いた以下で示す指標を、COVID-19関連の指標に関する開示を希望する発行体にとってとりわけ関連するものとして判別した。判別された指標を包括的なものとみなさないよう注意いただきたい。

アウトカムに関する前書き

アウトカムの指標すべてが、必ずしもポジティブなインパクト(例えば、所得増)の「増加」、またはネガティブなインパクトの「減少」という結果になる必要はない。一部のアウトカムは、状況からして現状維持がなされる場合でも、ポジティブなインパクトとみなすことがある。例えば、COVID-19のパンデミック下において、その調達資金を、低所得者層の女性の雇用を維持するために活用されたソーシャルボンドの発行体について、「所得増」は測定されないが、その代わりにパンデミック下で女性の失職の可能性がより高い状況であることを踏まえると、「所得水準の維持」をポジティブなインパクトとして重視するだろう。発行体は、こうした相違を明確化するために以下に提示する指標を改変することが推奨される。また、特定のアウトカムの指標が、なぜその方法により計測されたのかということを投資家に説明する目的で、ソーシャルボンド・フレームワークやその他の関連する開示でより詳細な情報を提供することもある。

アウトプット	アウトカム	インパクト				
I-必要不可欠なサービスへのアクセス						
ヘルスケア SDGs目標3: すべての人に健康と福祉を						
医療又は治療を受けられる患者数*予防治療を受けられる人の数*早期発見の検査を受けられる人の数*	病院の病床数の増加及び/又は病床密度の低下治療費の低下又は急性疾患に関する回避可能な入院の減少*	 生活の質の向上 平均寿命の上昇 罹患率の低下 死亡率の低下 				
 病床数* 必要性が判明している地域で建設された診療所の数* モバイル診療所もしくは電子医療サービスにアクセスできる受診者数* 	 支払能力の問題による治療回避の減少* 標準的な治療および治療薬のコスト低下 ある地域の医療施設までの距離の短縮*、又は患者と医療提供者との間の平均距離の短縮 医療制度の近接性又は接続性の改善* 看護の随時性および迅速性の向上 診断から治療までの平均時間の短縮* 					
病院およびその他医療施設の建設/改修件数*医療設備購入件数*	人材密度の上昇 治療にアクセスできる人の増加率 機能的健康(復職/休養からの復帰)のための受診回数の減少 偽陽性/偽陰性件数の減少* 看護手配の改善* 電子医療記録もしくは投薬指示記入システムの利用又は導入の増加*	 健康の公平性の改善 医療へのアクセスの容易性の向上 医療費負担の改善(支払能力/医療範囲の改善、 治療の遅れによる問題悪化の減少) 医療制度の対応の改善 				
• 手ごろな価格の医療保険に加入した低所得者数*	低所得者の自己負担費用の低下*、保険金請求の 処理時間の短縮及び処理費用の低下*					
資金を調達した健康関連の研究開発プログラムの 件数*	• 医療/医薬イノベーションの進行					
• 病院での出生数						
• 小児医療を受けられる子供の数		幼児(5歳未満)死亡率の低下乳児(1歳未満)死亡率の低下				
• 手ごろな価格の妊婦および出産に係る医薬品にアクセスできる女性の数	• 妊産婦医療のアウトカムの向上					
• ワクチン摂取者数* (年齢別、所得水準別、性別で分析)	• 伝染病感染率の低下*	 公衆衛生の向上^{9*} 				

⁹関連する場合、公衆衛生における特定の要素を明確化することが推奨される。

	アウトプット	アウトカム	インパクト				
	教育 SDGs目標4: 質の高い教育をみんなに						
•	教育を受けた学生数(性別で分析) 教育施設の数及び/又は教育イニシアチブの件数 教科書および教材の支給数	 学校における女子の増加率又はジェンダー平等の向上率(必要に応じ、小学校別、中等学校別などで分析) 上級学位を取得した女子又は若年女性の増加率(必要に応じて短大/大学別で分析) 学校在籍率の上昇 中退率の低下、子供の識字率の向上 	・ 識字率の上昇・ 若年者の失業率の低下・ 高等教育を修了した人口比率の上昇				
•	困難な状況にある生徒の数 サービスや適切な投薬治療にアクセスできる希少な 疾患を抱える者の数	• 通常の教室における特別な教育のニーズがある学生 比率の上昇					
•	研修を受けた教員	• 教員と生徒の比率の改善					
	スキル開発及び/又は需要のある問題に理想的な職業訓練を提供された者の数(性別)	・ 需要のある専門職などでの労働力参加率の向上					
•	医療/健康研修を受講した者の数*						
	SDGs目標1: 貧困をなくそう-SDGs目標5:	金融サービス ジェンダー平等を実現しよう-SDGs目標8:働きがいも経済成長	長も− <i>SDGs</i> 目標10:人や国の不平等をなくそう				
• :	低所得地域のSME及び/又は零細企業に対する融資件数金融サービスにアクセスできる人の数手ごろなマイクロクレジット/マイクロファイナンスにアクセスできる低所得者の数マイクロ保険商品にアクセスできる低所得者数マイクロ貯蓄商品にアクセスできる低所得者数	 所得増 貯蓄増 保険の補償の拡大 金融リテラシーの向上 金融市場へのアクセスの向上 ファイナンシャル・インクルージョンの強化 	 人々の金銭面での耐性/安定性の向上 低所得世帯の金融アクセスの容易性の拡大 経済成長/GDPの向上 人口ボーナスの拡大 身体的および精神的な痛みの低下 低所得世帯の住居費負担の軽減による生活の質の向上 性別による金融アクセスの容易性の差異の縮小 所得不平等の縮小ジニ係数の低下 				
		II-社会経済的進歩および社会参加					
	SDGs目標1: 貧困をなくそう-SDGs目標5 : シ	女性の社会参加 ェンダー平等を実現しよう-SDGs目標10:人や国の不平等をた					
•	マイクロ貯蓄商品およびマイクロ保険商品にアクセスできる低所得、地方もしくは少数民族の女性の数低コストの貸付にアクセスできる低所得、地方もしくは少数民族の女性の数テクノロジーにアクセスできる女性の数デジタル製品/サービスを通じて情報又は金融サービスにアクセスできる女性の数	 所得の伸び率/増加額 金融的保証の伸び率/増加額 女性の情報アクセスの向上、又は性に基づく情報非対称性の低下 女性の安全の向上 	 社会、経済、政治プロセスに全面的に参加するうえでの女性の主体性又は能力の向上 女性の機会の増加又は [低下した] 性別に基づく差別の改善 リソース、スキル、知識の女性への提供の改善又は資源、技能、知識への女性のアクセスの向上 賃金の不平等/男女間賃金格差の縮小 ジェンダーに基づく暴力が近親者間暴力の減少 人間の安全保障の改善/係争リスクの低下 				
	経営幹部又は経営者の過半数が女性であるSME への融資件数	指導的地位におけるジェンダー平等の改善女性が所有もしくは指揮するSMEの資本アクセスの向上	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -				
•	従業員もしくはサプライチェーンの過半数が女性であるSMEへの融資件数/融資額 正規職員の女性又は持続的に生活可能な女性の数	女性労働者の割合の上昇女性の就業率/女性の労働参加率					

アウトプット	アウトカム	インパクト					
適正な労働環境(安全プロトコル(個人用防具など)、適切な衛生施設、定期的な休憩、適切な 賃金、国内基準等に沿った労働時間など)にいる 女性の数	女性労働者の生活の質の向上女性労働者の負傷又は慢性の健康障害のリスクの 低下女性の事故率、死亡率及び/又は職業病率の低下 率						
• 同一賃金の雇用機会にアクセスできる女性の数	女性の所得の増加女性従業員もしくは労働者の定着率の上昇						
	弱者のソーシャル・インクルージョン ノリティ、地方、身体障碍、気候ハザード・リスク、紛争の がいも経済成長も-SDGs目標10:人や国の不平等を SDGs目標16:平和と公正をすべての人に						
• 身体障碍者雇用数/雇用率		社会的保護、経済、技術および金融サービスのほか、 自然資源へのアクセスの改善					
最低給付の受給者		 住民一人当たりのGDPの上昇 仕事や社会への不安にさらされている労働者の数の減少 人間の安全保障および人権の改善 幅広い雇用機会を提供することでの経済的不平等の軽減 気候変動への耐性の強化 					
• 小規模農家の数	 貧困危険度 若年者失業率 所得資産比率						
低所得者グル-プに供給される商品およびサービスの数	・ 児童労働率・ 住民一人当たりの所得						
• 自然災害といった気候変動の結果を軽減する対策を受けた弱者の数		気候変動の影響を受けやすい階層の不平等の軽減*気候災害のリスクのある経済的弱者のための気候正義の改善様々な弱者グループの社会参加の機会の拡大、最低					
所得保証制度の拡大 テクノロジーへのアクセス SDGs目標9: 産業と技術革新の基盤をつくろう-SDGs目標4: 質の高い教育をみんなに							
設備及び施設や技術の近代化に関する支援を受けたSMEの数	モバイル・ネットワークにアクセスできる人の割合						
改良技術の導入のために低所得世帯に付与される 融資の件数	情報アクセスの改善テクノロジー又はデジタル製品/サービスにより、情報、ネットワーク又は資源にアクセスできる女性の増加率	GDPの上昇生活の質の向上生産性の向上					
初回インターネット接続件数*	(テクノロジーを通じての)ファイナンスおよび金融市場へのアクセスの向上						
遠隔学習を可能にする技術製品 (ノートパソコン やタブレットなど) の受領者の数*	• 遠隔学習へのアクセスの改善*						
	III-雇用創出 SDGs目標8: 働きがいも経済成長も						
SME及び/又は零細企業への融資の件数	・ 失業者の減少	• GDPの上昇					
• 新たな職業技能の研修の受講者数	雇用改善の恩恵を受けた人の数研修を受け高技能職に就いた人の数						
雇用創出、支援及び/又は定着*身体障碍者雇用数	• 身体障碍者の雇用率						

アウトプット	アウトカム	インパクト				
IV-食料安全保障および持続可能な食料制度 SDGs目標1: 貧困をなくそう-SDGs目標2: 飢餓をゼロに-SDGs目標12: つくる責任 つかう責任-SDGs目標13: 気候変動に具体的な対策を-SDGs目標 16: 平和と公正をすべての人に						
 手ごろな価格で安全で栄養のある十分な食料にアクセスできる人の数 農家の研修受講(気候変動のスマート研修/オーガニックなど) 農業に係るインプット(金融投入、設備など)にア 	 食料不安のある人の減少 栄養不良状態の軽減 安全で栄養のある十分な食料を提供されている人の数 フェアトレード認証製品の生産増 	 栄養不良率の低下 農業生産性の上昇率 十分な食料の供給を受けている対象となる人々の割合 農家の貧困率の低下 				
クセスできる農家	収穫量の増加廃棄物の減少	 農家の経済的、社会的および環境上における耐性の 上昇率 一人当たりの食料廃棄物の減少 現地資源の効率性の上昇 				
農業プロジェクトから恩恵を受けた人や改良した農業テクノロジーを使用する人の数	・ 土壌の質の改善・ 節水の向上・ 殺虫剤の使用削減・ オーガニック/サステナビリティの基準に沿った生産の増加	・ 規・・ 規・・ 農産品チェーンの気候耐性能力の強化 ・ 資源関連の係争の減少率				
V-手ごろな価格の基本インフラ						
	水/衛生 SDGs目標6: 安全な水とトイレを世界中に					
• 建設/改良された水関連インフラプロジェクトの件数	きれいな水及び/又はトイレにアクセスできる人の割合/数					
・ 新築住宅の水道接続件数の増加	水関連の病気に関わる入院件数の減少家庭又は地方政府の医療費の減少	 綺麗で手ごろな価格の水およびトイレへのアクセスの増加 地域社会の健康アウトカムの改善 パンデミック/伝染病のリスク低下* 				
• 適切で公平なトイレを利用できる人の数	・ 衛生関連の疾病の発生の減少率・ 地域社会の水系感染症の減少率・ 危険廃棄物の処理率(%)	・ ハンナミック/伝染病のリスク低下。				
運輸 SDGs目標9: 産業と技術革新の基盤をつくろう-SDGs目標11: 住み続けられるまちづくりを						
・ 支線道路の修復/建設キロメートル数・ 手ごろな価格の輸送システムにアクセスできる人の数						
公平にアクセスできる持続可能な道路建設距離基本インフラの新設/改良(鉄道輸送、開発道路)から恩恵を受け、これがなければ移動できなかった居住者の数	• 公共交通機関にアクセスできる人の割合	モビリティの公平性の向上手ごろな価格のモビリティの増加持続可能/環境に優しい/低炭素モビリティの向上				
ソーシャルディスタンスを保つために購入された追加 輸送ユニット数*	・ 輸送密度の低下*					

アウトプット	アウトカム	インパクト					
電力 SDGs目標7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに-SDGs目標13:気候変動に具体的な対策を-SDGs目標14:海の豊かさを守ろう							
• 新規の住宅電力系統の接続件数	二酸化炭素排出量の減少大気質の改善/呼吸器系疾患の減少						
クリーンで低コストのエネルギーにアクセスできる人の数	 電気 (クリーンで低コストのエネルギー) にアクセスできる地方/世帯の増加数/増加率(%) 農業/漁業/薬剤に係るサプライチェーン全体での廃棄物削減 	電力網の耐性強化人口の生産性向上					
VI-手ごろな価格の住宅 SDGs目標11:住み続けられるまちづくりを-SDGs目標1:貧困をなくそう							
• 住居数	・ 全国/地方の地代指数と比較した家賃						
• 補助金対象住宅を利用する個人/世帯数	手ごろな価格の住宅又は住宅ローンへのアクセス改善*低所得者向け住宅の居住者及びホームレスの減少						
・ 設備の整った住居にアクセスできる身体障碍者		• 安全性および住処に係るアウトカムの向上					
・ 地域社会の活動への賃借人の参加(率)	女性の不動産および住宅所有の増加						
サービスが受けられていない借用人(女性、少数者など)の割合							

* * *

Japanese language translation courtesy of the Japan Securities Dealers Association and review by Nomura Securities Co., Ltd.











連絡先

ICMA Paris 62 rue la Boétie 75008 Paris France

Tel: +33 1 70 17 64 70

socialbonds@icmagroup.org www.icmagroup.org